

2020 年度 体罰によらない子育てプログラム 「ポジティブ・ディシプリン」の実施 新規事業地（名古屋市）での開催に関する実施報告書

一般社団法人ポジティブ・ディシプリン コミュニティ

2021 年度新規事業地として、名古屋において、事務局認証 2 時間版および 18 時間版標準プログラムの実施することができた。主催団体は、かねてから、ポジティブ・ディシプリン®に興味を持ってくださっていた地域の子育て支援団体であり、今回本助成事業が利用できることから、標準プログラムの実施を実現することができた。そして、主催団体スタッフと参加者が、ポジティブ・ディシプリン®・ファシリテーター養成講座に参加し、ファシリテーターとしての実地研修を行うこととなった。今後、名古屋で地域の子育て支援者が、ポジティブ・ディシプリン®認定ファシリテーターとして誕生し、プログラム実施が継続して進められていく見通しが立った。

1. プログラムの実施

年	月日	場所	開催プログラム	プログラム参加者数
2021	9 月 22 日	名古屋市昭和区	事務局認証 2 時間版	8
2020	10 月 2 日~12 月 4 日	名古屋市昭和区	標準プログラム	8

【プログラムの様子】

〈2 時間版〉30~40 代の母親が参加した。18 時間版の実施を前に、内容に興味を持ってまずは参加して下さった方が多かった。日頃から広場を利用されている方 6 名、子どもがいる支援職の方が 2 名参加した。終了後に参加者から活発に質問があり、「自己肯定感を育むには自分自身が子育てとどう向き合いたいのか」という質問を受けた。たたく怒鳴る、ということにフォーカスするのではなく、「子どもの発達段階を知ること」という点に興味を持っていただけたようだった。18 時間標準プログラムへの理解が進み、参加者のうち 4 名が標準プログラムへと参加された。

〈標準プログラム〉日頃、主催団体の一般社団法人ぷらっとココロさんが運営する広場利用者が多いため、最初から打ち解けた雰囲気であった。託児も、日頃広場でサポートするスタッフさんが担当し、親子ともに安心が与えられていた。リラックスできる環境のおかげで、参加者同士自然に意見を交わし、協力しあっていた。

参加者の多くが 30 前後であり、仕事の経験の中で温かい肯定的なサポートを受けた経験があり、ポジティブ（温かい肯定的）な子育ては受け入れやすかったようである。参加者の声では、コロナ禍で他の養育者と繋がりにくく、孤独に子育てになりがちなか中、いろんなママと話せたのが救いだったことが聞かれた。周りのママは苦勞せずキラキラしているように見えたが、一緒に話すことで皆悩み迷いながら子育てしていることを知って、これでもいいんだと思えたようであった。

自らも養育者であり、同時に子育て支援者である高齢児の母も 2 人参加していたが、小さな子どもを育てる母親たちとは、お互いに刺激をもらい、幅広い年齢の子どもへの理解が促進されていた。プログラム内での参加者の発言から、各々が意識に変化が生じ、行動変容があった様子も確認することができた。

2. 名古屋普及の展開（2021 年度）

2 時間版の依頼を受けたが、コロナ感染拡大のため延期となった。

年	月日	場所	開催プログラム	プログラム参加者数
2021	※2021 年 1 月開催が	名古屋市西区	事務局認証 2 時間版	定員 8 名

	緊急事態宣言の発令で中止となり、延期となった。			
--	-------------------------	--	--	--

3. 今後の名古屋普及の展開（来年度以降）

2022 年度、実地研修および標準プログラム開催の依頼相談を受けている。

年	月日	場所	開催プログラム
2022	5月予定	未定	事務局認証 2 時間版
2022	5-8 月	名古屋市昭和区	実地研修初回（養成継続 3 名）
2022	9-12 月	名古屋市西区	標準プログラム
2023 以降	未定	名古屋市昭和区	実地研修 2 回目（養成継続 3 名）

サイト名：体罰によらない子育てプログラム「ポジティブディシプリン」の実施

URL：http://nippon.zaidan.info/jigyo/2020/0000094960/jigyo_info.html